

# 令和6年度 公益社団法人 日本ホッケー協会 事業計画



# 目次

OVERVIEW	P03
戦略統括本部	P04
強化育成本部	P05
事業本部	P07
コーポレート本部	P10
常設委員会	P11
事務局	P12

# OVERVIEW

当協会は我が国におけるホッケー界を統轄し、代表する団体として、ホッケー競技の普及および振興に関する事業を行い、国民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に寄与することを目的としている。

スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉に全面的に則り、令和4年度に理事会及び組織を大幅に見直しを実施した。一方で、まだまだ問題点や改善すべき課題もあり、その解決に向けてさらなる改善の為の努力をする必要がある。特に補助金が減少する中での財務基盤の再建に関しては、新規自主財源の獲得と規律ある事業運営を確立することが重要となる。

令和6年度はパリ2024オリンピックが開催されるが、女子代表さくらジャパンが、6大会連続となる出場権を獲得した。また、アンダーカテゴリーの選手たちのレベルアップも著しく、引き続き選手の育成強化を行い、国際競技大会へのチームの派遣を含めて競技力向上を図る。

これまで長くホッケーを支えて頂いたホッケータウンと呼ばれる地域の皆様と手を取り合って、ホッケーの更なる普及および振興を行うとともに、各種国内競技大会の開催、審判員・指導員等の養成も進める。

日本ホッケー界を代表して、FIHやAHFといった国際機関、JSPO・JOC・JSC・JADAといったステークホルダーとの密なコミュニケーションを行う。また、事務局業務の合理化・効率化を図り、次世代を担う人材の発掘と育成、東京2020大会のレガシーである大井ホッケー競技場の活用にも注力する。



# 戦略統括本部

- ・財務規律に基づいた健全な事業運営の確立
- ・自主財源の多様化、増加に向けた具体的な取り組みの実行
- ・次世代リーダーの発掘と育成
- ・デジタルを活用した事務局業務の効率化とマーケティングの推進

	R6年度活動目的	事業計画	主なスケジュール
経営 企画部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央だけでなく、ホッケータウン(HT)を戦略的に活用し、経営基盤の強化を行う</li> <li>・ アンケートなどのデータ分析の上活用方法検討</li> <li>・ 中長期戦略の再構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HTに対し付加価値を整理・伝達の上、HTの資源活用しながら経営基盤強化を行う</li> <li>・ 財政基盤の見直しに伴うRoad to 2030 (RT2030) の現実性を再検討の上、中長期計画の再構築を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通年 RT2030見直し</li> <li>・ 4~5月 R5年度のアンケート結果をもとに必要なデータ・示唆抽出</li> <li>・ 6月 HT中心にアンケート実施</li> <li>・ 11月 全国サーベイ実施</li> </ul>
財務 統括部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務規律を確立し、健全な事業運営を行う。</li> <li>・ さくらジャパン応援募金で資金を集める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経理労務業務のIT化とアウトソーシングを推進し、予算と実績の管理及び式繰りの管理を徹底する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経理業務の更なる効率化と人材の強化を実現する</li> </ul>
マーケ ティング 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パリ2024オリンピック出場権確保を最大限レバレッジしたセールス活動の実施</li> <li>・ 新たな補助金・助成金の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メインスポンサーとの契約延長や、新規のスポンサー・パートナーの獲得</li> <li>・ 国際強化マッチ開催</li> <li>・ ホッケー競技が持つ価値の言語化とセールスの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上期：パリ2024オリンピックへのプロモーション&amp;セールスの実施</li> <li>・ 下期：ホッケー競技の価値向上に向けた取組みの実施</li> </ul>
関連団体 統括部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツガバナンスコード原則13に則った関連組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導・助言及び支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連団体の組織運営及び業務執行についての実態把握の実施</li> <li>・ 適切な指導・助言及び支援の実施</li> <li>・ 情報提供や研修会の実施等による支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上期：R5年度に各組織から提出された資料の分析およびヒアリングの実施</li> <li>・ 下期：情報提供や研修会の内容の検討</li> </ul>
デジタル 推進部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 守り（デジタルによる業務効率化や自動化の仕組みを整える）と攻め（コミュニケーション改善やデジタルマーケティングの推進）を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サーバー移管（メール、ファイル）およびセキュリティ見直し</li> <li>・ 試合記録管理速報システム構築</li> <li>・ 登録システム更改</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サーバー移管およびセキュリティ見直し(2025年度内)</li> <li>・ 試合記録管理速報システム構築(2024年度主要大会に導入)</li> <li>・ 登録システム更改(2025年3月切替予定)</li> </ul>

# 強化育成本部

令和6年度はさくらジャパンのパリ五輪でのメダル獲得が最大の目標である。そのためには、計画的な強化プラン、特に海外の強豪国とできる限り多く試合を行うことが重要である。パリオリンピックでは最低限入賞圏内には必ず入りたい。

U21は男女はジュニアワールドカップの出場権を獲得したい。また、アンダーカテゴリー及びエリートコーチのパスウェイシステムをFTEMと連携しながら推進していく。

## 男子ハイパフォーマンス部

- ・ランキング目標：14位以内（前年比 2up）
- ・海外遠征3回予定（合計33日）
- ・国内合宿5回予定（合計35日）

### 【活動方針】

- ・ロス2028オリンピック出場に向けて、コーチングスタッフ・選手選考ともに中期的視点で取り組む
- ・2026年愛知・名古屋アジア大会に向けた準備をスタートする
- ・国際大会で通用する新プレーモデルの確立と選手の育成を、基盤整備から行っていく
- ・アンダーカテゴリーから一貫したFTEMの推進。強化パスウェイとコミュニケーション活性化

### 【主要参加予定大会】

- ・アジアチャンピオンズトロフィー 2024年9月9日～9月17日（6か国中2位以内）
- ・スルタン・アズランチャー・カップ 2024年5月4日～5月11日（6か国中2位以内）

## 女子ハイパフォーマンス部

- ・ランキング目標：6位（前年比 4up）
- ・海外遠征4回予定（合計90日）
- ・国内合宿5回予定（合計35日）

### 【活動方針】

- ・パリ2024オリンピックでのメダル獲得
- ・ロス2028オリンピックを目指した新体制の構築  
（次のオリンピックイヤーサイクルに向けた人材とプログラム策定）
- ・アンダーカテゴリーから一貫したFTEMの推進。強化パスウェイとコミュニケーション活性化  
（世代間を繋ぐ取り組み）

### 【主要参加予定大会】

- ・第33回オリンピック競技大会（2024／フランス・パリ）2024年7月27日～8月9日（12か国中6位）
- ・第2回Nations Cup（2024／スペイン・バルセロナ）2024年6月3日～6月9日（8か国中1位）
- ・SOMPO Japan Cup 2024年6月29日～30日（2か国中1位）
- ・アジアチャンピオンズトロフィー 未定（6か国中1位）

## アンダーカテゴリー強化育成部

### 【活動方針】

- ・男女U21では、Jr. WCアジア予選においてJr. WC出場権獲得することが最大の目的
- ・将来「サムライ・さくらジャパン」で活躍できる選手育成（一貫指導）をする。各カテゴリー間の一貫した強化パスウェイ（FTEM）を実施して競技力向上を目指す
- ・エリートアカデミー事業やU12・U15の中長期プラン実施に向け、育成環境整備・充実の具体化を図る

### 【主要参加予定大会】

- ・男子U21 Jr. WCアジア予選 未定
- ・女子U21 Jr. WCアジア予選 未定
- ・男子U17 ミラナワンカップ（マレーシア）未定
- ・女子U17 ミラナワンカップ（マレーシア）未定

## ◆指導者育成部

R6年度活動目的	<ul style="list-style-type: none"><li>「世界に通用する型破りなコーチの育成」を使命に、JSPOコーチ資格取得促進と資格取得者のコーチ力の底上げの2事業を活動の柱とする。コーチ3、4資格者を対象とした定期研修/情報共有の場である「ACDキャンプ」の継続と、ナショナルレベルで活躍できるエリートコーチ、育成年代のタレントコーチ等、コーチ育成のパスウェイを明確にしていく</li></ul>
事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>コーチライセンスグループ コーチ3、コーチ4専門科目（講習）の企画・実施</li><li>コーチデベロップメントグループ ACDキャンプの企画・実施 段階別コーチ育成プログラムの検討</li></ul>
主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>コーチ3、4専門科目（講習）：2024年7月、2025年1月予定</li><li>ACDキャンプ 通年（隔月）</li></ul>

## ◆テクノロジー&ディベロップメント部

R6年度活動目的	JSCでは科学的な根拠に基づいた普及・発掘・育成・強化を推進するため、日本の競技スポーツの基盤を踏まえた「日本版FTEM」を開発している。JHAでもR5年度に作ったJHA版FTEM（案）をたたき台に、R6年度には各カテゴリーの担当者により協議・検討しJHA版FTEMシステムを構築したい。その後、全カテゴリーへ提示し、R7年度から実施したい。FTEM構築に伴い、各カテゴリーに対してJHAとして医科学、情報サポート体制も同時に確立を目指し、検討していきたい。
事業計画	FTEM実施グループを立ち上げ、各カテゴリーにおける育成システム構築し、R7年度実施に向け検討する。 また、同時に医事グループ、フィジオグループ、情報分析グループにおけるナショナルチームサポート体制に向けて検討する。
主なスケジュール	4 - 6月 FTEMシステム案の検討 8 - 10月 各カテゴリーへのヒアリングの実施 11 - 3月 実施に向けた説明会の開催



# 事業本部

- ・ 充実した組織運営を目指すとともに、円滑でスムーズな競技運営を目指す。また、競技役員の資質向上と育成にも注力する
- ・ ホッケーの楽しさを伝えホッケーファミリー拡大に繋げるとともに、世界に羽ばたく選手の育成を目指して活動を行う
- ・ 大会やイベント開催を通じて、大会運営ノウハウ、知見の維持・向上を図る
- ・ 各部、具体的には以下の事業を推進していく

## ◆競技運営部

R6年度活動目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 充実した組織運営</li><li>・ 他組織との綿密な連携</li><li>・ 円滑でスムーズな競技運営</li><li>・ 競技役員の育成(特に審判員の増員は急務)</li></ul>
事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 競技役員の派遣と充実した競技運営の指導及び協力</li><li>・ 競技役員の資質向上及び育成</li><li>・ 全国ルール統一研修会の開催</li></ul>
主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各種国内外の競技会へ競技役員を派遣(通年)</li><li>・ 全国大会や各ブロック大会において競技役員の育成・昇格試験等の実施(通年)</li><li>・ 2月にルール統一研修会開催(2025年2月8日-9日)</li></ul>

## ◆ホッケーファミリー未来部

R6年度活動目的	ホッケー競技の普及・発展のためにホッケーの楽しさを伝えるとともに、世界に羽ばたく選手の育成を目指して活動を行う
事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全国スポーツ少年団大会</li><li>・ U12ホッケードリームキャンプ</li><li>・ U12ホッケーオールスター戦</li><li>・ 夢見るホッケー教室×トミさんコーチング</li></ul>
主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 9月：全国スポーツ少年団大会</li><li>・ 12月：U12ホッケードリームキャンプ</li><li>・ 3月：U12ホッケーオールスター戦</li></ul> <年間を通して> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 夢見るホッケー教室×トミさんコーチング</li></ul>



## ◆イベントマネジメント部

<b>R6年度活動目的</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>国際大会の継続的開催を通じた大会運営ノウハウ、知見の維持、向上</li></ul>
<b>事業計画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>大会開催を通じて、大会運営ノウハウ、知見の維持、向上を図る。また、地域との関係性の維持向上、ボランティア等とのネットワークワーキング活動を行う</li></ul>
<b>主なスケジュール</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>2024年6月 ホッケー国際強化マッチ2024開催予定</li></ul>

### 【主要イベント（予定）】

#### ①（仮）さくらジャパン壮行イベント

- 実施日：2024年6月29（土） or 30日（日）
- 場所：大井ホッケー競技場
- 概要：さくらジャパンのオリンピック壮行試合を実施。海外から代表チームを招聘し、ホッケーファミリーに国際トップクラスの試合を見ていただく機会を創出すると同時に、地域との連携を強化した様々な取り組みやイベントを行い、より総合的に楽しめる大会を開催する



# コーポレート本部

協会およびホッケーの社会的信用と存在価値を高め、協会運営およびW杯招致に向けた基盤づくりに貢献するという本部方針に則り、各部以下の事業を推進していく

	R6年度活動目的	事業計画	主なスケジュール
広報部	<ul style="list-style-type: none"><li>常に正確で新しいホッケー情報の迅速な発信の継続</li><li>大会のLIVE配信のさらなる推進</li><li>男女代表チームの活動情報を伝えるPR</li><li>ホッケータウンの拡充など次の100年に向けた取組みの推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>JHAホームページ運営</li><li>JHA YouTube 動画撮影</li><li>イヤーズブック、カレンダーの制作</li><li>代表チームや第二期ホッケータウン認定に伴う記者会見や認定式運営、メディア懇親会</li><li>内外の大会への取材派遣</li><li>パリ2024オリンピック応援機運醸成</li><li>解説者育成プログラム</li><li>JHA公式グッズ制作及び販売スキームの検討</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>6月日本代表国際強化マッチ（さくらジャパンオリンピック壮行試合）</li><li>7月27日～8月11日パリオリンピック</li><li>12月 カレンダー発行</li><li>3月イヤーズブック発行</li></ul>
国際部	<ul style="list-style-type: none"><li>世界におけるJHAの存在価値の向上</li><li>FIH・AHF会議への参加</li><li>代表チームの強化に資する国際的側面でのサポート</li><li>国際分野で活躍する人材の育成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>FIH・AHF会議や国際大会への参加</li><li>海外要人の来日時対応</li><li>代表チームの活動サポート。国際NFネットワーク構築や現地協力者とのリレーション</li><li>国際人養成コース</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>6月FIH理事会@Web</li><li>7月27日～8月11日パリオリンピック</li><li>8月6～7日FIH理事会@パリ</li><li>11月7日FIH理事会@オマーン</li><li>11月9日FIH総会@オマーン</li></ul>
法務コンプライアンス推進部	<ul style="list-style-type: none"><li>健全な協会運営と環境づくりに寄与し、対外的な信用を高め、協会やホッケーの価値向上に資する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>契約書類の確認・作成、訴訟対応、その他各部門からの法務案件について相談体制を整備し、法務リスクを発見・軽減する</li><li>法令等遵守を前提に、実情に適応した協会内各種規程等の整備</li><li>ホッケー協会内や関連団体へコンプライアンスの周知徹底を行う取組みを推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>役員向けコンプライアンス研修（11月）</li></ul>



# 常設委員会

	R6年度活動目的	事業計画	主なスケジュール
AD・インテグリティ委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公財)日本アンチ・ドーピング機構が実施する検査、教育、TUE等に関する事項および公財)日本オリンピック委員会が実施するインテグリティ教育事業に関わる事項について管理し、各事業を円滑に進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンチ・ドーピング教育活動定着のための委員会規程の再改訂</li> <li>・国内競技会でのドーピング検査の準備および違反事案の結果管理のJADA/FIHとの連携</li> <li>・アンチ・ドーピングならびにインテグリティ教育のさらなる充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回以上の委員会会議の開催</li> <li>・規則違反への対応継続</li> <li>・ドーピング検査準備</li> <li>・アンチ・ドーピング、インテグリティ教育の充実(パリ五輪代表、FTEM/DX対応、大学生ターゲット強化、医科学調査研究を含む)</li> </ul>
社会共創委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パリオリンピックを契機にホッケーの町をさらに繋ぎ、地域活性化にも貢献する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホッケータウン第2期募集</li> <li>・第1期HTの活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月以降募集開始</li> <li>・随時開催</li> </ul>
アスリート委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホッケー競技の認知度向上と普及における課題を明確化する</li> <li>・24年度、26年度、30年度それぞれの時間軸で目標を定め、活動を具体化する</li> <li>・世代横断的にアスリートをサポート、並びにニーズの集約を加速させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年度目標に実行可能な課題を実行</li> <li>・26年度目標に実行可能な課題を始動</li> <li>・30年度目標に実行可能な課題を検討</li> <li>・LGBTQ、スポーツマネジメント、スポーツメンタル等、各種研修を開催</li> <li>・関東関西でホッケークリニックの定期開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の月例開催</li> <li>・各カテゴリ全国大会支援(SNS配信、アンケート調査)</li> <li>・各種セミナー・研修開催</li> <li>・JOC主催のアスリート委員会への参加(他競技との連携、交流)</li> </ul>
コンプライアンス委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス委員会規程に則り、コンプライアンス意識の日常業務への実践・定着を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例委員会を年2回開催する(5月、11月)・臨時委員会を随時開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月定例委員会①・11月定例委員会②・随時臨時委員会</li> </ul>



# 事務局

事業	目的	事業計画	主なスケジュール
堅実な協会運営業務の遂行	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ団体ガバナンスコードに準拠した堅実な協会運営を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経理・労務管理業務のみならず、契約・文書管理等の承認/管理手続きのマニュアル作業をシステム化すべく仕組みの再構築を進める。具体的にはジョブカンのワークフローシステムの確実な導入と確実な運用に注力する</li> <li>理事会や幹部会の堅実な運営を行う</li> <li>引き続きスポーツ庁やJOCとのコミュニケーションを密にとりタイムリーな情報収集に務める</li> </ul>	通年
業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>総事業数および補助金事業の増加により飛躍的に事務負担が増えている</li> <li>他方で、事務局員の人員数増加は難しいため、財源の有効活用の為の事務効率化が急務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経理・会計           <ul style="list-style-type: none"> <li>-特に増加する事業数および助成金申請・精算対応業務の増大に対する対応が大きな課題。組織基盤強化支援事業を活用した業務効率の改善と、アウトソーシング化や外部リソースの活用を一層進める</li> </ul> </li> <li>登録業務           <ul style="list-style-type: none"> <li>-現行システムについては他の競技団体との共通プラットフォームであるが故に構築・運用コストの削減が達成できているものの、システムの柔軟性に制限があり、引き続きマニュアル作業が多く残っている状況。R6年度を通じて組織基盤強化支援事業を活用した抜本的な見直しを進める</li> </ul> </li> </ul>	通年
各本部・委員会活動補支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアで活動する皆様の業務支援を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パリ2024オリンピックに向けた業務量増加に対して確実に対応していく</li> <li>個々の強化関連事業および普及関連事業に関し現場ニーズを先取りした支援を確実にを行う</li> </ul>	上半期 -パリ2024大会対応  下半期 -JHA主催事業対応

# JAPAN HOCKEY ASSOCIATION

---

## CONTACT

公益社団法人 日本ホッケー協会  
〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
Japan Sport Olympic Square  
TEL: 03-6812-9200  
FAX: 03-6812-9210

